

平成22年度 赤穂高等学校(全日制) 学校評価

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）	
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。	1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を發揮できるよう努力する。	
	今年度目標	中間評価
	(1)個々の生徒の進路実現をめざし、学力の伸長をはかる。	進路指導や学年、教科を中心に、学力を伸ばすべくさまざまな取り組みを行っている。
	(2)基本的な生活習慣の確立をはかり、様々な活動に積極的に参加する自主性を伸ばす。	生徒指導や学年を中心に、頭髮などの身だしなみ指導や街頭指導を通じて、基本的な生活習慣の確立を図っている。部活動では、運動部文化部ともに複数のクラブが全国大会に出場し活躍した。
	(3)より開かれた学校をめざし、家庭・地域との連携を強めその実現をはかる。	P T Aや中学校、学校評議員などの意見を取り入れて対応している。特に環境整備においては、多くの保護者が参加して校内の学習環境整備を行った。

領域	対象	評価項目	評価の観点	中間評価
教育活動	教育課程	本校の教育課題をさらに改善するため、現行教育課程の点検を進めるとともに、新学習指導要領による教育課程について研究と編成を進める。	①現行教育課程の点検・改定ができたか。 ②新学習指導要領による教育課程の研究・編成を進められたか。	現行教育課程の点検、新学習指導要領による教育課程の研究・編成に取り組んでいる。
	進路指導	(1)社会情勢の変化に対応した、適切な進路指導を行う。 (2)生徒の希望進路実現のため、あらゆる場面で進路指導を行う。	(1)一人ひとりの生徒が望む進路の実現ができたか。 (2)路関係の行事を通して、進路意識の高揚が図れたか。	就職指導・進学指導とも、ほぼ計画通りに進行しており、現在も指導継続中である。今後も、生徒の望む進路の実現ができるよう努力していく。
	学習指導	(1)「総合的な学習の時間」の計画立案および運営の取りまとめをおこなう。 (2)次年度講座選択の調整をおこなう。 (3)授業評価についての研究をおこなう	(1)年間行事予定との整合性を確保しながら、「総合的な学習の時間」において効果的な学習活動を実施することができたか。 (2)生徒の進路希望に見合った適正な講座編成ができたか。 (3)魅力ある授業づくりに向けた取り組みができたか。	(1)各学年で計画通り実施できている。 (2)1学年、2学年は進路調査と選択科目の集約が終わり、今後調整に入ってゆく。 (3)今後考えてゆく。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1)人権平和教育について、生徒・教職員への啓発ができたか。 (2)内容は適切であったか。 (3)各学年・係等との連携が図れたか。	当初の計画通り推進できている。 本年度は人権教育の映画の実施と感想文の回収冊子作りを予定し、映画については実施できた。冊子については今後制作の予定。
	図書	(1)楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。(2)教科・特別活動等と連携して主体的な学習の援助を行う。	読書週間・全校読書会・図書館企画の準備や働きかけはできたか。	読書への関心を高めてもらえるように読書月間を中心に働きかけを行い、利用は伸びている。
	視聴覚	(1)視聴覚教育が充実するための環境を整える。 (2)メディアリテラシー教育の推進を図る。	(1)①芸術鑑賞を実施し生徒の満足感を得たか。 ②視聴覚機器の修理・更新を図り、教育内容の改善充実に貢献したか。 (2)教科・特別活動においてメディアリテラシー教育を推進できたか。	芸術鑑賞は、講演内容も充実しており、十分な満足感を得られた。 放送機器の点検とあわせ、必要に応じ、機器の更新を図りたいが、予算との兼ね合いもあるため、特別な機器更新は行っていない。
	生徒指導	(1)社会から信頼される基本的な生活習慣の確立を図る。 (2)公共心の育成をはかる。 (3)安全で安心できる学校生活を推進する。	(1)無断の遅刻・早退・欠課をなくせたか。 (2)頭髮・服装など身なりを質素にし、きまりをまもることへの適切な指導ができたか。 (3)交通法規を遵守し、安全に通学する指導ができたか。	・計画に基づき、「身だしなみ検査」、「交通安全教室」等を行なった。 ・週1回の定例会を持ち、各学年の状況を把握し指導に当たった。
	教育相談	(1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (3)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②必要に応じた職員研修ができたか。 (2)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (3)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	生徒の状況を把握する中、担任と連携しながら該当生徒に対応している。 スクールカウンセラーと連携しながら、必要な生徒に対してカウンセリングを実施している。
	生徒会	(1)自治活動を通じて市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に取り組めるようにする。 (3)生徒会と地域との連携を図る。	(1)生徒会活動に生徒が積極的に参加できたか。 (2)クラブ活動への参加率はどうかであったか。 (3)保護者や地域住民との交流ができたか。	クラブ活動への加入者は多く、運動系・文化系クラブとも成果を残してきている部が多い。鈴蘭祭の準備には、各委員会・係・学年を中心に積極的に取り組んだ。
	美化	校舎内外の環境美化を整え、活動しやすい環境づくりをしていく。	活動しやすい環境づくりのために清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の周知徹底ができたか。	清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の徹底は、まだ不十分であるが、今後も継続で徹底するよう指導していきたい。
保健	(1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1)健康維持推進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。	職員対象の健康に関する研修の実施、職員・生徒に向けた定期的な保健たよりの配布、インフルエンザに対する注意喚起を行った。	

教務		本校教育活動の円滑な運営。	・各種行事の効率的な運営と見直し。 ・各部、係、学年、教科との密な連絡調整。	定期テストの日程見直しを行い適正化を図った。各部署との連携についてはさらなる研究が必要である。
	庶務	魅力ある赤穂高校のPR。	・体験入学の活用。 ・学校案内、公開授業等の活用。	体験入学では約700人の参加があった。可能なPRは全て行っているが、さらに本校の魅力を伝える方法を模索する必要がある。
		新コース制（普通科）のスムーズな導入。	・1学年、各教科との連絡調整。	手探り状態でのスタートであった。1学年に大部分を任せてしまっている部分を改善する必要がある。
	広報・情報	校内ネットワークを安全かつ効率的に運用する。	校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか。	問題なく効率的かつ安全に運用されている。
	防災	防災意識を高め、緊急時に備える。	防災意識を高められたか。	年間計画に従って有事に即応できる体制の確立を
学校運営	予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修繕が適正に行われたか。	備品購入費・施設修繕費の要望をまとめ審議し、予算執行した。現時点では、その他の予算についても、適正な執行が行われている。施設・設備の整備・修繕については、継続的な課題が多く、着実な整備実現を引き続き働きかけたい。
	将来像検討	これからの赤穂高校のあり方について検討する	(1)生徒の実態を把握した上で赤穂高校の方向性を検討できたか。 (2)赤穂高校の特色を検討し、その特色を生かした活動のあり方を検討できたか。	・学校目標などについて検討を行った。
	P T A	P T A事務局としての円滑な運営ならびに多くの保護者のP T A活動への参加の促進。	P T A活動が円滑に行なわれ、多くの保護者が参加し、子供、学校とかわりを持つことができたか。	ほぼ計画通り実施できている。研修旅行参加者の増加や、強歩大会豚汁サービスでの改善点など、次年度に生かすべく取り組んでいく。
	同窓会	同窓会の円滑な運営	同窓会活動が活発に行われるよう取り組むことができたか。	進路指導等生徒の活動に対する補助実施。
	学校評議員会運営	学校評議員会の効果的な運営を行う。	学校評議員の意見要望を学校運営に生かすことができたか。	・生徒会ともタイアップして運営できた。
	初任者研修	初任者研修の適切な運営を行う。	初任者に教員の基本的な資質能力を習得させることができたか。	・初任者と話し合いながら進めている。 ・初任者は積極的に取り組んでる。
	安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	・健康管理の意識を高めるために、職員に対して多角的な働きかけを行っている。
	修学旅行	修学旅行の検討。	①目的地・日程などについて、保護者や生徒の意見を取り入れながら、生徒にとって有意義で無理のない適切な設定ができたか。 ②業者選定にあつて、保護者の意見も取り入れながら、見積書の提出、選定方法等適正な処理がなされたか。	・目的地・日程・費用などについて、保護者と密接に連絡を取りながら計画を立てている。 ・業者選定のプレゼンテーションも、保護者に同席してもらった。